

# 2018（平成30）年度 事業報告

（自・2018年4月1日 ～ 至・2019年3月31日）

2018（平成30）年度は公益財団法人として6年が経過した。公益事業の骨子をなす諸事業によって、豊かな福祉社会を創るための支援を続けることができた。また社会の変化に対応できるよう将来を見据えた事業の在り方を模索してきた。事業の充実は財政の如何によるのでその安定化を求めてきた。

社会福祉を担う人びとの資質の向上、啓発、助成・奨学金支給等各事業は順調に展開することができた。

事業を推進するにあたって、以下を課題と踏まえつつ実施した。

- ① 海外研修の方向性を高齢者、子ども対応にした。
- ② 自然災害による地域対応や地域福祉活動への支援
- ③ 財務の強化と安定化
- ④ ホームページを中心とした情報の発信に加えて「愛恵たより」発行によるコミュニティづくり、などである。

## 公益事業の概要

「社会福祉の担い手の育成及び福祉活動振興のための支援事業」を目的とし、その成熟をめざし直接、間接的に支援を行ってきた。

福祉に携わる人々の資質の向上のため海外研修、また国内における社会福祉情報提供のための講座、講習、セミナー、施設見学会、手話教室等を開催した。また福祉をテーマとした「エッセイ」の公募等で広く福祉社会への啓発を計ってきた。

また、社会が多様化する中で、求められる支援も細分化、ピンポイントな対応が求められ介護、養護、就労、障がい等対応する福祉施設は規模を問わず新設されているが、財政規模によっては活動展開が捗りにくい施設も数多くあり助成の要請は増加し資金助成は活かされている。

高度化する福祉社会のリーダーとなるべき人材を育成することは将来を見据えた福祉社会への総合的な支援である。

そのための具体的な支援としてペイン記念奨学金を給付、社会福祉を学問的に深化させてもらうことを期待している。

## (公1) 公益事業

### ア. 海外研修事業

海外での社会福祉の実態を学び、自らの実践を振り返る機会とし、より優れた実践の担い手として成長し、日常業務に生かしていく「人材」となることをテーマとしての研修を実施してきた。

#### ① 「高齢者ケア」アメリカ・ポートランド州立大学における研修

2018年度は、前年度に引き続き特別養護老人ホームの施設長など管理的立場にある者の経営訴求にこたえ「世界の高齢者のケアを学ぶーアメリカ・ポートランド市における研修」を企画実施した。

ポートランドは高齢者が最後まで自立した生活をするにはどうしたらよいかを考え続け、新しい生活スタイルをつくりだした地であって、その地の州立ポートランド大学における研修の成果は今後とも生かされ参加者の価値を高めることとなるであろう。

今回は、参加者の枠を13人とし、提供する研修機会を広げることができた。

【研修先】 アメリカ・オレゴン州 ポートランド州立大学及び市内高齢者施設3ヶ所

実施期間 2018年10月28日～11月3日

参加者 公募による13人 財団委員3人

海外研修企画委員 遠藤久江、高原敏夫、助川征雄、松井直樹、平田美智子

公募期間 2018年7月15日～

#### ② 「子ども・家族を支援する」シンガポール研修

財団ではかねてより「子ども」のために特化した事業を検討してきた。

昨今の「子ども」をめぐる社会事情は険しく、ことに、家庭において、また地域においてどのような支援が必要か考えてきた。

今回、地域で、子ども・家族を支援する児童福祉施設がどのように地域でのサービスなされ発展するかを、学ぶためシンガポール「シンガポールこども協会」をはじめ同国の取り組みを見学研修することにした。

【研修先】 シンガポールこども協会、児童保護専門センター、地域児童家庭センター

児童養護施設付設里親支援機関 ロータリー・ファミリーサービスセンター。

実施期間 2019年1月13日～1月18日

参加者 公募による12人 財団委員4人

公募期間 2018年9月5日～11月15日

【海外研修企画委員】 遠藤久江、高原敏夫（2018/10）まで、助川征雄、松井直樹、平田美智子

## イ. 講座講習等開催事業

社会福祉の担い手に、新しい知識、技術等を知らせたい。

特に個人では収集できない情報などを提供して将来の課題を探り、社会福祉の充実に寄与、支援するため各種事業を開催した。

### 2018年度開催事業

	事業名	内 容	公募期間	実施日	場 所	参加人数
1	音訳講座 (基礎編②)	読むことが不自由な方々のために、文字などを音声化する音訳、そのルールの基礎を深める講座。	～4/21	4/25 5/16 5/30 全3回	愛恵ビル	30人
2	音声デイジー 製作講習 (基礎編)	音声に加えて目次・見出しの情報を記録した「音声デイジー」について学び、パソコンによる録音と編集方法を学ぶ。	～6/14	6/21 6/22 6/23 全3回	愛恵ビル	13人
3	マルチメディア デイジー 製作講習	発達障がいや知的障がいのある方、文字が見えにくい方々に対する読書支援。音声と文字、画像を同時に再生できるデジタル録音図書の製作方法を学ぶ。	～10/12	10/19 10/20 10/21 全3回	愛恵ビル	10人
4	施設見学会 (第1回)	虐待や貧困など子どもの環境が社会問題となっている。逃京家庭学校は、キリスト教の理念に基づき、日本の児童養護の先駆者の役割を担ってきた。難しい問題を抱えた子どもたちの生活の支援に携わっている職員の教育をいかに行っているかを学びたい。	～5/19	7/3	社会福祉法人 東京家庭学校	31人
5	施設見学会 (第2回)	福祉の人材不足が課題となっているが、千歳敬心苑では「人材育成室」を設置し介護職員の資質向上に効果を發揮している。また、千歳敬心苑全体として、地域に最も選	～9/28	10/16	社会福祉法人 千歳敬心苑	21人

		ばれる施設・サービスを目指し独自の取り組みを行っている。それらをどのように実践しどんな結果を生み出しているかを学ぶ。				
6	セミナー (講演会)	「障がい者とかかわって」		11/16 全1回	野村証券 セミナー室	50人
7	手話教室	入門、初級、中級、上級 全8クラス 手話通訳士への ステップアップ講習会		4～3月 20回	愛恵ビル	65人
8	夏休み 子供手話教室	手話の普及のため財団近隣の 小学生を対象に実施した。		8月	愛恵ビル	20人

講座講習企画委員 田中弘、新田和子、上田健、伊藤美智子

委員会開催 4/25、5/16、5/30、6/6、6/8、6/21、6/22、6/23、10/13、10/19、10/21、  
2/15,

西原雄次郎氏（ルーテル大学・名誉教授）講演会 DVD制作

#### ウ. 愛恵エッセイ賞（懸賞論文）募集事業

豊かな福祉社会を創るため、国民各層から助け合い、支え合う体験、経験のエッセイを公募、福祉意識の涵養のため公募した。

公募期間 2018年9月15日～11月13日

応募数 学生 111、専門職10、一般12 計133

選考委員会 2018年1月22日

選考委員 八尾 勝、今野義美、河合裕志、坂上三男

表彰式 2018年3月2日 於・銀座東京福音センター

福祉講演会 「福祉に生きた視覚障がいクリスチャン」

阿佐光也（日本盲人キリスト教伝道協議会 副議長）

受賞者

区分	最優秀	優秀	佳作	奨励
学生	1人	3人	3人	1人
専門職	1人	1人	2人	1人
一般	1人	2人	2人	1人

受賞作品集を700部 制作 配布

#### エ. 社会福祉育成活動推進事業

##### ① 助成金給付

社会福祉法人及び特定非営利法人等が実施している事業のうち比較的小規模、貧困救済、

子供に係る事業、先駆的事業の挑戦者、緊急性のあると判断されるものに助成をした。

公募期間 2018年7月15日～9月20日

選考委員会 2018年10月29日

助成件数 応募 171件 給付 108件

選考委員 小島敏則(東京都社会福祉協議会)、関道子(多摩同胞会)、田中弘(財団)

公募期間を7月～9月において 周知期間は例年と同じく行った。

## ② ペイン記念奨学金給付

社会福祉界のリーダーとなるべく人材の育成を目的として給付型奨学金である。

対 象 指定16大学 福祉系大学院生

公募期間 2018年4月15日～5月15日

応募者数 6人

必要書類 申請書、成績証明書、指導教員推薦書、本人レポート(自筆のもの)

選考基準 1次 学業成績、指導者推薦書内容、本人レポートによる順位付け

2次 面接勉学の意欲、研究分野及びテーマの口述、自己表現力

選考委員会 1次 2018年5月25日

2次 2018年6月9日(4人の面接)

決 定 4人

\*大学院修了

選考委員 遠藤久江、河合裕志、李 善恵(関西学院大学)

柴田謙治(金城大学)、都築光一(東北福祉大学)

委員会開催 5/25(選考)、6/9(面接) 1/25(次年度公募要領、推薦大学の見直し)

2018 1/19、/3/24、3/27(受給者報告会)、

受給者報告会 出席者 5人

内2人は大学院を修了した。

## ③ 協賛助成

### A. 日本キリスト教児童福祉連盟

全国の社会的養護にある子どもたちとの高校生交流会(7月28日～31日)

石川県青少年総合研修センター 参加者60人

協賛金 30万円

### B. 日本キリスト教社会事業同盟

女性への人権侵害からの回復に関する研修会(9月28日～29日)

若年女子への性暴力被害の現状、回復支援の歴史、今日的課題

東京千代田区神田、救世軍本営 参加者80人

協賛金 15万円

C. 地域福祉施設協議会

第23回 全国地域福祉施設研修会

東京江東区ファッション・センター 参加者 250人

協賛金 30万円

## 収益事業

### (収1) 施設貸与事業

「愛恵ビル」は財団公益事業推進の拠点場所として使用されるほかは、所要スペースを一般に貸与している。

2018年度の 事業収入は 合計 7,678,258 円

テナント

株式会社 ESS 3室 社団法人 日本エアマンシップ・操縦士養成機構 1室

良公監査法人 1室

収益の50%超（全額）を公益事業に繰り入れる。

## 法人運営に関する事項

### 1. 総務事項

財団設立年月日 1998年10月1日

基本財産 (2019年3月31日現在)

投資有価証券 2,679,620,000 円 (時価)

土地 100,000,000 円

建物他 41,770,353 円

### 2. 役員 2019年3月31日現在の役員 理事7人 監事2人

代表理事 高原 敏夫 (非常勤) 業務執行理事 (常務理事・常勤) 杉浦孝夫

理事(非常勤) 遠藤久江、河合裕志、昆百合子、田中弘 高原敏夫、西崎攻司

監事 (非常勤) 新庄正 廣田伊志子

**評議員** 2019年3月31日現在の評議員 (非常勤) 8人

上田 健、岸川洋治、坂上三男、坂本正路、塚越敏夫、新田和子、野原健治、助川征雄

### 3. 事務局

常務理事 (事務局長) 1人 職員 2人

4. 届出、変更、登記 7月10日 評議員8人 (7人再任、助川征雄新任) 登記

7月10日 理事7人再任登記

## 5. 評議員会理事会開催状況

評議員会	<p>2018年3月27日</p> <p>2018年6月28日</p>	<p>2017年度 臨時評議員会</p> <p>2018年度 事業計画案 承認</p> <p>収支予算案 承認</p> <p>2018年度 定時評議員会</p> <p>2017年度 事業報告・収支決算承認</p> <p>役員報酬規程変更</p> <p>評議員1人選出</p>
理事会	<p>2018年5月21日</p> <p>6月15日</p> <p>9月21日</p> <p>11月6日</p> <p>2019年1月24日</p> <p>2019年3月6日</p>	<p>2018年度 第1回定時理事会</p> <p>2017年度 事業報告(案)承認</p> <p>決算報告(案)承認</p> <p>監査報告の件</p> <p>役員候補推薦の件</p> <p>定時評議員会開催(6/15)</p> <p>2018年度 第1回臨時理事会</p> <p>代表理事 高原敏夫選定</p> <p>今後の資金運用は 理事長、常務理事において担当する。</p> <p>業務報告、財産運用(定期預金償還と再投資ヒアリング)、奨学金、海外研修決定報告</p> <p>非常勤役員報酬限度額の規定の件</p> <p>第2回臨時理事会</p> <p>助成金選考法人委員の承認(田中理事)</p> <p>非常勤役員の退職慰労の件</p> <p>第3回臨時理事会</p> <p>2019年度事業計画検討</p> <p>同 収支予算計画検討</p> <p>臨時評議員会開催日の決定</p> <p>第4回臨時理事会</p> <p>2019年度事業の骨子を承認する</p> <p>収支予算の骨子を承認する</p> <p>定時理事会、評議員会を決定。</p> <p>富田公認会計士より役員等の退任慰労金について再考すべしとの助言があった</p> <p>第2回定時理事会</p>

		2019年度事業計画（案）承認
		2019年度収支予算（案）承認

## 財産運用

財団の運営はすべて基本財産運用益によっている。

2018年度の運用益は予算58,000千円を計上したが、実績は68,352千円となった。約10,000千円の増額は為替変動により予算金利を上回り増額されたものである。

## 業務改善

ホームページの刷新、財団案内パンフレット更新、「愛恵だより」発行により情報伝達の機能の向上を目指し、事業の内容、実行について公開してきた。

### 保全管理

エレベーター ワイヤー交換工事（経年消耗対策）

高圧電気機器、ケーブル交換工事（経年劣化対策）

水道ポンプ増圧・高架、受水タンク撤去工事

空調設備工事（9月台風被害修復）

## 収支相償に関する事項

2017年度における収支相償における余剰金2,446,689円は収支相償計算上公益事業収入に加算された。

以上